

■「時」に関する意識調査

『社会人1年目の仕事と時間意識』調査

- ・無駄だと感じる仕事時間トップは「朝礼」
- ・44%が終業後5日ともまっすぐ帰宅、内向き傾向か？
- ・社内の飲みニケーションは衰退？ 忘年会は果たして…？

シチズン時計(本社:東京都西東京市、社長:戸倉敏夫)は、全国の新入社員(2017年春入社)400人を対象に、「社会人1年目の仕事と時間意識」調査を実施しました。

就職活動日程などの変化がありながら、新卒の採用に積極的な企業が目立ち、就職氷河期は終息したと見られる2017年の新入社員。入社から約半年経った彼らの社会人としての意識を、“時間”という切り口から探ってみました。

【調査概要】

- ◆期間 2017年9月22日～9月26日
- ◆方法 インターネットによる調査
(インターネット調査会社を通じてサンプリング・集計)
- ◆対象 全国の2017年春入社 of 社会人(正規雇用のみ)
サンプル数 400人(男性200人、女性200人)
最終学歴が、専門学校、短期大学、4年制大学、大学院の方。

文中・表内の百分率(パーセント)の数値は小数点第2位を四捨五入しています。
そのため、合計が100%にならない場合があります。

この件に関するお問い合わせは下記までお願いします。

シチズン時計(株) 広報IR室
TEL042-466-1232(直通)

<<調査の項目>>

Q1. 職場に慣れてきたと感じたのは、勤め始めてどのくらい経ってからですか？

職場に慣れるのは入社3カ月が目安
1カ月以内という順応性の高い人も4人に1人

Q2. 職場で失敗しても新入社員を理由に大目に見てくれたのは、勤め始めてからどのくらいまでですか？

半数近くが「いまだに新入社員扱い」(48.3%)
女性よりも男性が多く

Q3. 職場に着くのは、始業の何分前が多いですか？

多くが余裕を持って出社
始業30分以上前の“早出派”が34.3%

Q4. 寝坊や二日酔い、勘違い、失念など自分の失敗で遅刻をしたことはありますか？

4人に1人が自分の失敗での遅刻経験あり
1時間以上の大遅刻は約3%

Q5. 1日の勤務時間(残業を除く)のうち、集中して仕事をしている時間はどのくらいですか？

集中できる時間は「4時間22分」、勤務時間の半分程度
女性の方が、22分長く集中持続

Q6. 「無駄だ」と感じる仕事時間はありますか。下記から3つ以内でお選びください。

無駄だと感じる仕事時間トップは「朝礼」

Q7. 終業後、上司や先輩との飲み会は1カ月にどのくらいですか。また、飲み会の回数としてちょうどよいと感じるのは1カ月にどのくらいですか？

Q7'. 1回の飲み会の平均時間はどのくらいですか。また、1回の飲み会の時間としてちょうどよいと感じるのはどのくらいですか？

忘年会シーズン到来だが、飲みニケーションはあっさり
上司との飲み会、月に0回が41.5%
理想は月に1回2時間解散「もう少し誘って欲しい」という新入社員も

Q8. 平日の終業後、まっすぐ帰宅する頻度は1週間のうち何日ですか？

44%が5日ともまっすぐ帰宅
終業後のアクティブ派はごく少数、内向き傾向か？

◇職場に慣れるのは入社3ヵ月が目安

◇1ヵ月以内という順応性の高い人も4人に1人

Q1. 職場に慣れてきたと感じたのは、勤め始めてどのくらい経ってからですか？

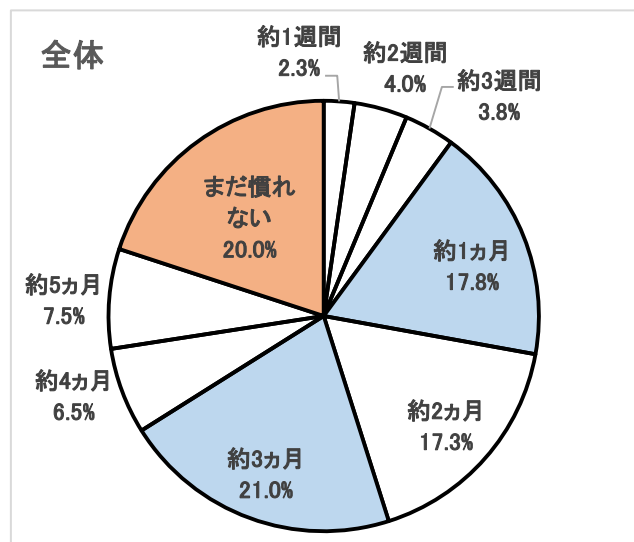
(%)

	全体	男性	女性
約1週間	2.3	3.0	1.5
約2週間	4.0	2.5	5.5
約3週間	3.8	3.5	4.0
約1ヵ月	17.8	19.0	16.5
約2ヵ月	17.3	18.5	16.0
約3ヵ月	21.0	20.0	22.0
約4ヵ月	6.5	7.5	5.5
約5ヵ月	7.5	6.5	8.5
まだ慣れない	20.0	19.5	20.5

職場に慣れたと感じるのは「約3ヵ月」(21.0%)が最も多く、全体の6割以上(66.2%)が「3ヵ月まで」(「1週間」～「3ヵ月」の合計)に慣れたようです。

1ヵ月以内で慣れたという順応性の高い人が27.9%いる一方で、「まだ慣れない」という人も2割います。

新しい環境に慣れる期間に個人差があるのは自然なことです。自分のペースで最善を尽くして、社会人生活の基礎を築いてほしいものです。



◇半数近くがいまだに「新入社員」扱い(48.3%)

◇女性よりも男性が多く

Q2. 職場で失敗しても「新入社員」を理由に大目に見てくれたのは、勤め始めてからどのくらいまでですか?

(%)

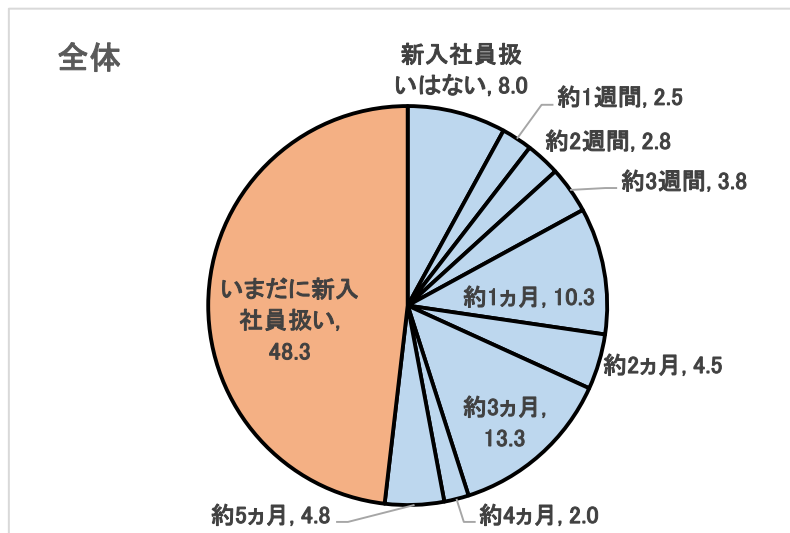
	全体	男性	女性
新入社員扱いはない	8.0	7.5	8.5
約1週間	2.5	3.5	1.5
約2週間	2.8	3.0	2.5
約3週間	3.8	3.5	4.0
約1ヵ月	10.3	10.5	10.0
約2ヵ月	4.5	4.0	5.0
約3ヵ月	13.3	10.5	16.0
約4ヵ月	2.0	3.5	0.5
約5ヵ月	4.8	2.0	7.5
いまだに新入社員扱い	48.3	52.0	44.5

いまだに「新入社員」扱いという人が48.3%いました。また男女別に見ると、男性の「いまだに新入社員扱い」という回答が女性と比べて7.5ポイント上回りました。

一方で、“1ヵ月まで”に新入社員扱いがなくなったという回答が27.4%。“3ヵ月まで”に45.2%が集中しました。

新人扱いは職場によって差があるようですが、一人前への道はそう甘くないようです。

(%)



◇多くが余裕を持って出社

◇始業 30 分以上前の“早出派”が 34.3%

Q3. 職場に着くのは、始業の何分前が多いですか？

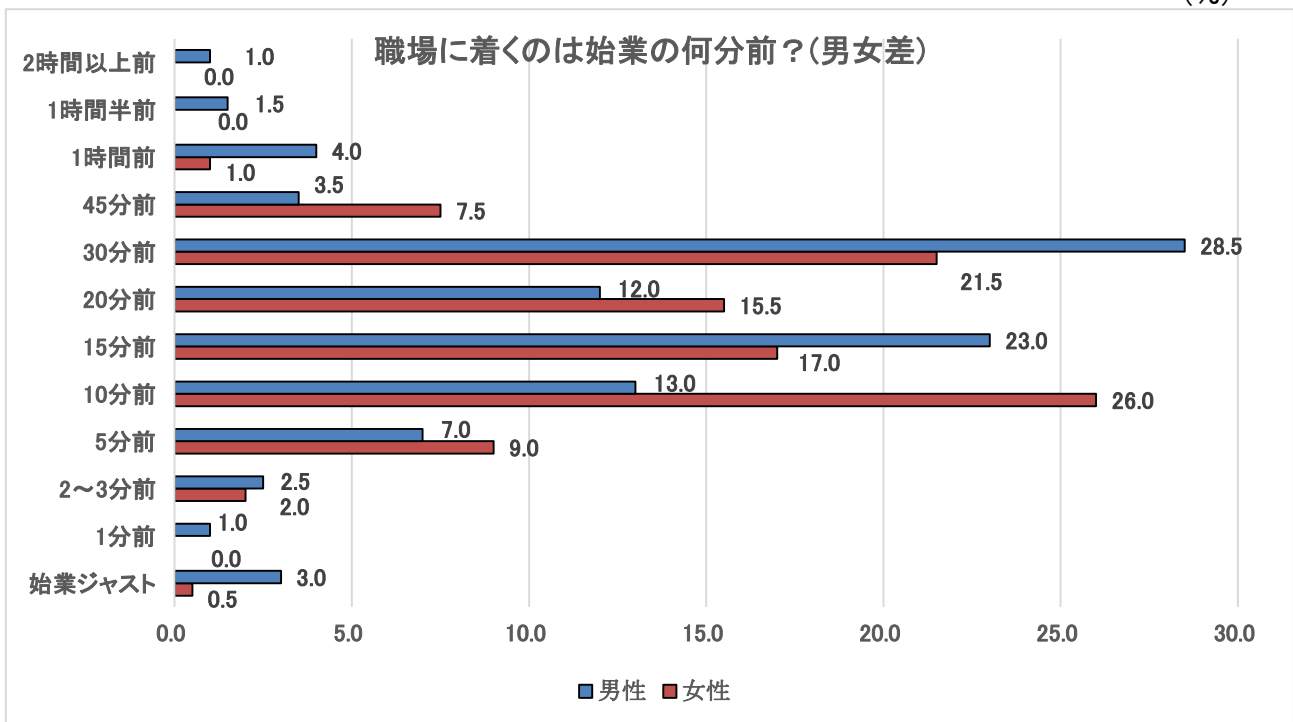
(%)

始業時間の何分前に出社しているのかを聞いた結果、「30 分前」(25.0%)と「15 分前」(20.0%)が上位の回答でした。また、30 分以上前に出社する“早出派”が 34.3%いることが分かりました。新入社員の多くが余裕を持った出社を心掛けているようです。

男女別に見ると、男性は 30 分前出社が最も多い(28.5%)のに対して、女性は 10 分前出社が最多(26.0%)です。身だしなみを整えるなど出社までにかかる時間も、こうした男女差に影響しているのかもしれませんが。

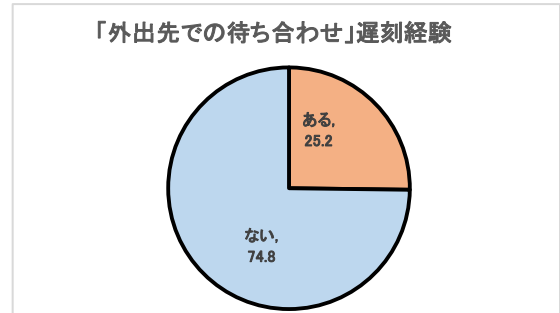
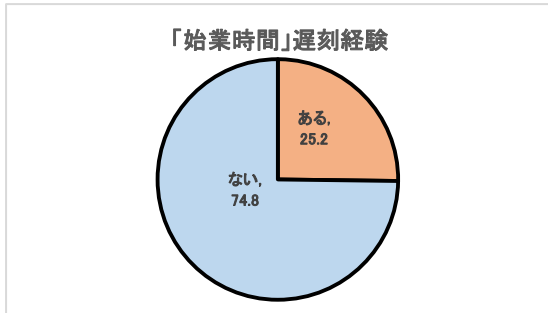
	全体	男性	女性
2時間以上前	0.5	1.0	0.0
1時間半前	0.8	1.5	0.0
1時間前	2.5	4.0	1.0
45分前	5.5	3.5	7.5
30分前	25.0	28.5	21.5
20分前	13.8	12.0	15.5
15分前	20.0	23.0	17.0
10分前	19.5	13.0	26.0
5分前	8.0	7.0	9.0
2～3分前	2.3	2.5	2.0
1分前	0.5	1.0	0.0
始業ジャスト	1.8	3.0	0.5

(%)



- ◇4人に1人が自分の失敗での遅刻経験あり
- ◇1時間以上の大遅刻をした人が約3%

Q4. 寝坊や二日酔い、勘違い、予定を忘れたなど自分の失敗で遅刻をしたことはありますか？
 「始業時間」、「外出先での待ち合わせ」の2つのケースについて、最も遅刻した時間をお答えください。
 ※遅刻をしたことがない場合は「ない」を選択
 ※交通機関の遅れなど、自分の失敗でない場合は除く (％)



	①始業時間		
	全体	男性	女性
5分	8.5	8.5	8.5
10分	4.5	5.0	4.0
20分	2.5	3.0	2.0
30分	5.3	7.0	3.5
40分	0.5	0.0	1.0
50分	0.8	1.5	0.0
1時間	2.3	2.0	2.5
1時間半	0.0	0.0	0.0
2時間	0.0	0.0	0.0
2時間半	0.0	0.0	0.0
3時間以上	1.0	1.5	1.0
ない	74.8	71.5	78.0

	②外出先での待ち合わせ		
	全体	男性	女性
5分	5.3	3.5	7.0
10分	8.0	9.5	6.5
20分	4.3	4.5	4.0
30分	3.8	3.5	4.0
40分	0.5	0.5	0.5
50分	0.5	0.5	0.5
1時間	2.0	2.0	2.0
1時間半	0.3	0.0	0.5
2時間	0.5	0.5	0.5
2時間半	0.0	0.0	0.0
3時間以上	0.3	0.0	0.5
ない	74.8	75.5	74.0

長く勤めているベテラン社員にとっては、寝坊、二日酔い、勘違い、失念などで遅刻した経験の一度や二度はあることでしょう。しかし、入社して間もない新入社員にとって遅刻の焦りはより大きなものです。入社して6ヵ月間、緊張感を持っている人が多いようですが、①始業時間②外出先での待ち合わせともに、4人に1人が自分の失敗での遅刻経験があるようです。社会人としての時間意識の大切さを失敗から学んだ新入社員もいることでしょう。

具体的に見てみると、

①「始業時間」

25.2%の人が、遅刻したことが「ある」と回答。その多くは、「5分」～「30分」程度でした。一方で、3.3%の人が1時間以上の大遅刻を経験しています。ビジネスの基礎としてしっかりとした時間意識を持つことが大切です。

②「外出先での待ち合わせ」

こちらも25.2%の人が、遅刻経験が「ある」と回答。1時間以上の大遅刻は3.1%でした。このシーンで

は、相手先との関係が生じることもあるのでより一層の注意が必要です。

◇集中できる時間は「4時間22分」、勤務時間の半分程度

◇女性の方が、22分長く集中持続

Q5. 1日の勤務時間(残業を除く)のうち、集中して仕事をしている時間はどのくらいですか？

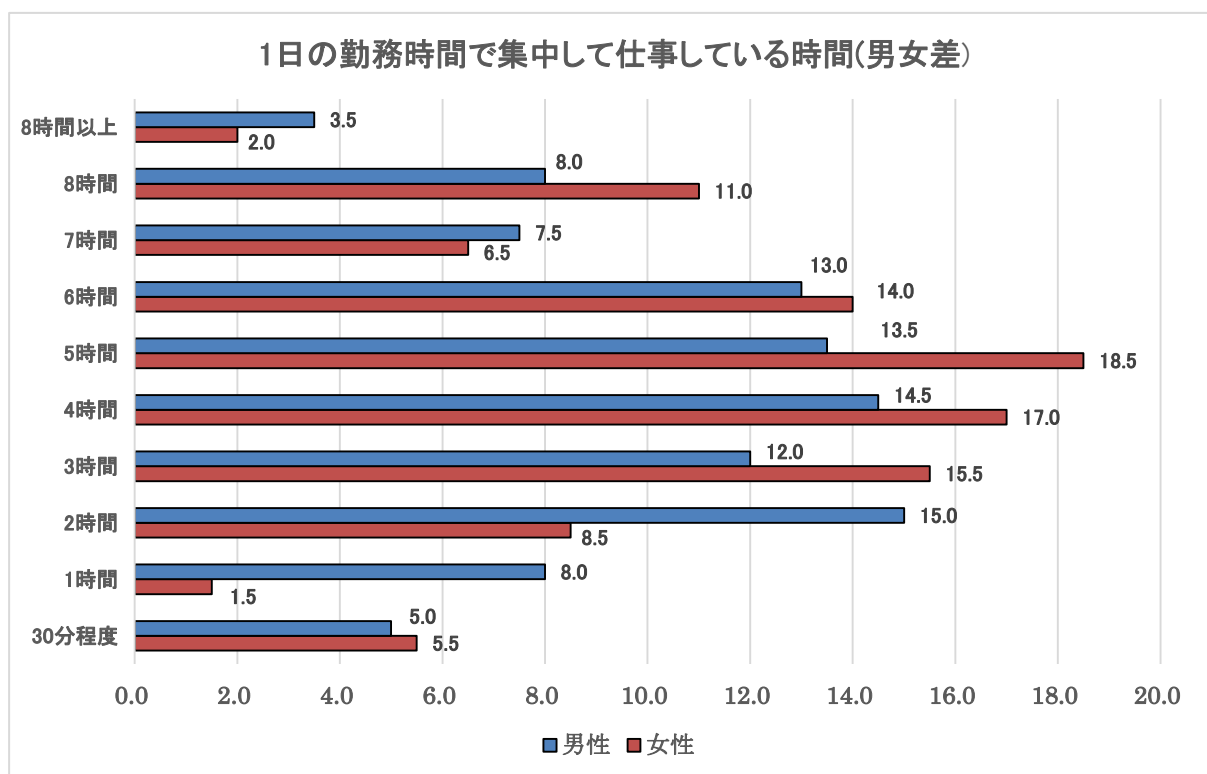
(%)

	全体	男性	女性
30分程度	5.3	5.0	5.5
1時間	4.8	8.0	1.5
2時間	11.8	15.0	8.5
3時間	13.8	12.0	15.5
4時間	15.8	14.5	17.0
5時間	16.0	13.5	18.5
6時間	13.5	13.0	14.0
7時間	7.0	7.5	6.5
8時間	9.5	8.0	11.0
8時間以上	2.8	3.5	2.0
平均時間	4時間22分	4時間15分	4時間37分

勤務時間中ずっと集中力を保つことが理想ですが、なかなかそうもいきません。お茶を飲んだり、同僚とおしゃべりをしたり、気分転換も必要でしょう。実際、新入社員はどのくらい集中して仕事に取り組んでいるのでしょうか。トップ3は「5時間」(16.0%)、「4時間」(15.8%)、「3時間」(13.8%)です。全体の回答時間の平均は4時間22分と、集中できる時間は勤務時間の半分程度のように。

男女別に見ると、男性は「2時間」(15.0%)、女性は「5時間」(18.5%)の回答が最多です。平均時間は、男性が4時間15分、女性が4時間37分と、女性の方が22分上回りました。

(%)



添付

◇無駄だと感じる仕事時間トップは「朝礼」

◇「ちょっとした打ち合わせ」、「お茶くみ」、「社内会議」、「業務報告書作成」も無駄？

Q6. 「無駄だ」と感じる仕事時間はありますか。下記から3つ以内でお選びください。

無駄だと感じる仕事時間を聞いたところ、「ある」と回答した人は約6割で、トップは「朝礼」(15.3%)でした。昔ながらの習慣が残る「朝礼」。最近では職場によって回数を減らしたり、工夫がされているようですが、それでも1位となりました。次いで、「ちょっとした打ち合わせ」「お茶くみ」(13.8%)「打ち合わせ」や「会議」、「報告書」など報・連・相に係る業務も挙がりました。(%)

一方で、「無駄だと感じる時間はない」と感じている人も4割弱(39.8%)います。業務時間の効率化を図ることも重要ですが、あらゆる業務から学びを得ることも新入社員の大事な仕事だという姿勢なのかもしれません。

	全体	男性	女性
朝礼	15.3	13.0	17.5
ちょっとした打ち合わせ	13.8	15.0	12.5
お茶くみ	13.8	12.0	15.5
社内会議	11.5	14.0	9.0
業務報告書作成	11.5	13.5	9.5
掃除	10.5	11.5	9.5
電話対応	8.8	9.5	8.0
コピー・ファックス	8.5	11.0	6.0
会議・プレゼン用資料づくり	5.3	6.5	4.0
メールチェック	4.3	5.5	3.0
その他	3.0	2.5	3.5
昼食	2.5	2.5	2.5
無駄だと感じる時間はない	39.8	37.5	42.0

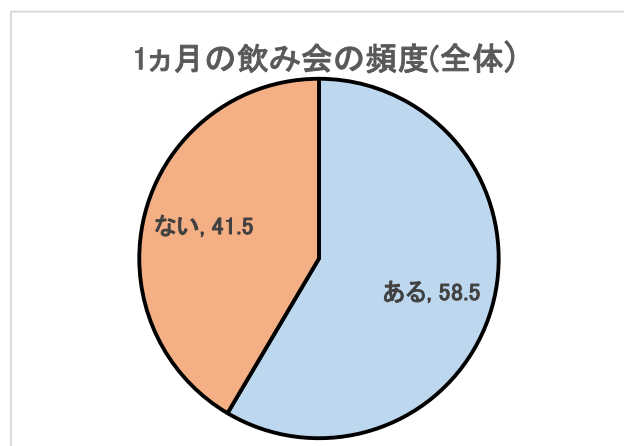
◇忘年会シーズン到来だが、飲みニケーションはあっさり

◇上司との飲み会、月に0回が41.5%、理想の頻度は月に1回2時間解散

◇「もう少し誘ってほしい」という新入社員も

Q7. 終業後、上司や先輩との飲み会は1ヵ月にどのくらいですか。また、飲み会の回数としてちょうどよいと感じるのは1ヵ月にどのくらいですか？

(%)



これから忘年会シーズンが始まりますが、今どきの新入社員はどのくらいの頻度で上司と飲みニケーションを取っているのでしょうか。

①実際の飲み会頻度

結果は、「ない」(41.5%)もしくは、あっても「1回」(36.5%)と、ひと昔前と比べると飲み会は少ないようです。男女別に見ると「ない」と回答した女性が50.5%と、男性を18ポイントも上回りました。

②理想の飲み会頻度

一方で、新入社員の考える理想の飲み会の頻度は「1回」(40.3%)、「ない」(37.5%)と、「ない」と回答した人が実際の飲み会頻度と比べて若干減少しました。近年は気を遣って誘わない上司も多いようですが、職場のコミュニケーション機会として、「もう少し誘って欲しい」と考えている新入社員もいるようです。

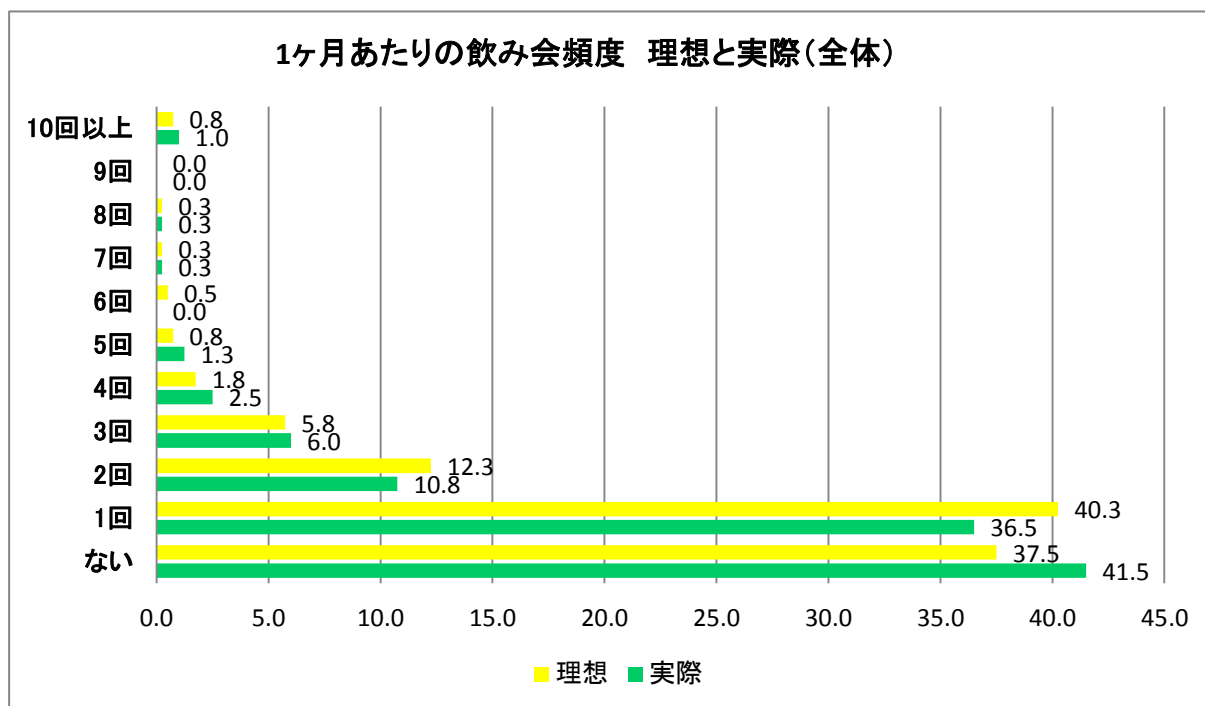
①実際の飲み会頻度 (%)

	全体	男性	女性
1回	36.5	41.0	32.0
2回	10.8	13.5	8.0
3回	6.0	6.5	5.5
4回	2.5	2.5	2.5
5回	1.3	2.0	0.5
6回	0.0	0.0	0.0
7回	0.3	0.0	0.5
8回	0.3	0.5	0.0
9回	0.0	0.0	0.0
10回以上	1.0	1.5	0.0
ない	41.5	32.5	50.5

②理想の飲み会頻度 (%)

	全体	男性	女性
1回	40.3	38.5	42.0
2回	12.3	18.0	6.5
3回	5.8	8.0	3.5
4回	1.8	2.5	1.0
5回	0.8	0.0	1.5
6回	0.5	1.0	0.0
7回	0.3	0.0	0.5
8回	0.3	0.0	0.5
9回	0.0	0.0	0.0
10回以上	0.8	1.5	0.0
ない	37.5	30.5	44.5

(%)



Q7'. 1回の飲み会の平均時間はどのくらいですか?また、1回の飲み会の理想の時間はどのくらいですか?

①実際の1回あたりの飲み会時間 (%)

	全体	男性	女性
30分未満	4.7	5.9	3.0
30分	3.4	5.2	1.0
1時間	2.1	3.0	1.0
1時間半	3.4	3.7	3.0
2時間	31.6	32.6	30.3
2時間半	18.8	16.3	22.2
3時間	19.2	17.8	21.2
3時間半	4.3	5.2	3.0
4時間	8.5	7.4	10.1
4時間半	1.3	0.7	2.0
5時間以上	2.6	2.2	3.0

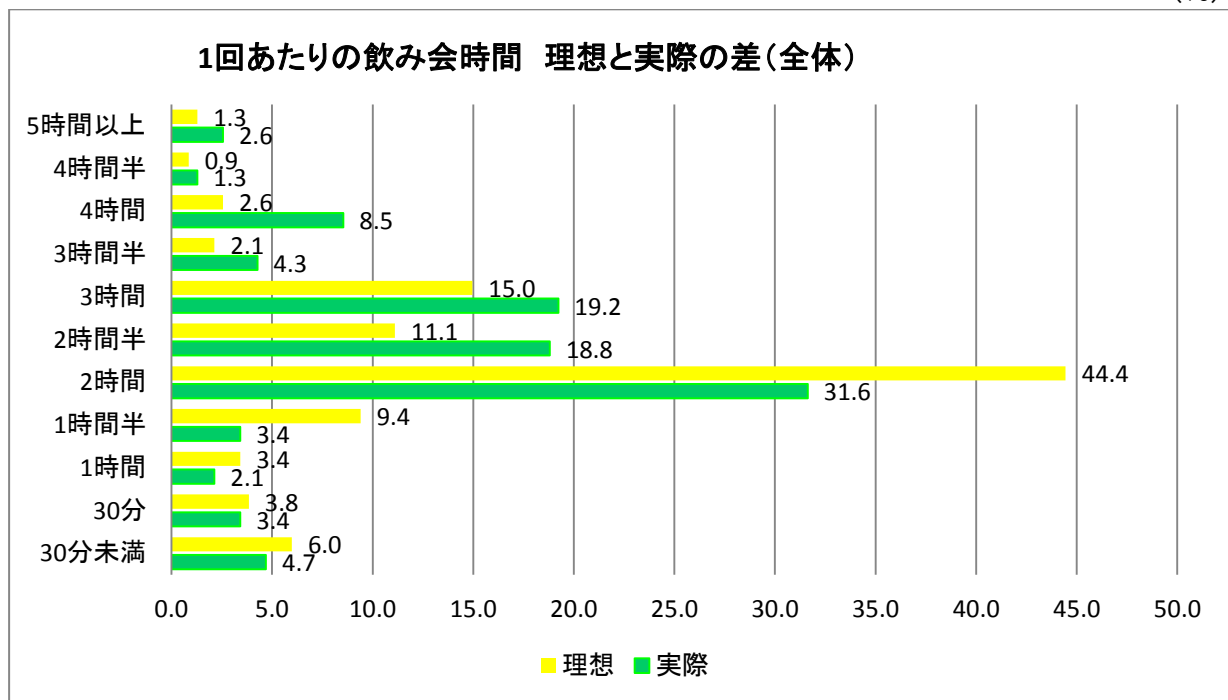
②理想の1回あたりの飲み会時間 (%)

	全体	男性	女性
30分未満	6.0	8.1	3.0
30分	3.8	5.2	2.0
1時間	3.4	4.4	2.0
1時間半	9.4	9.6	9.1
2時間	44.4	43.7	45.5
2時間半	11.1	11.9	10.1
3時間	15.0	11.1	20.2
3時間半	2.1	1.5	3.0
4時間	2.6	2.2	3.0
4時間半	0.9	0.7	1.0
5時間以上	1.3	1.5	1.0

Q7で月に1回以上飲み会が「ある」と回答した234人に、1回あたりの飲み会時間を聞いたところ、約7割(69.6%)が2時間～3時間と回答。この結果から、稀な飲み会も1次会で解散するのが大半のようです。ちょうどよいと感じる、理想の時間のトップ3は「2時間」(44.4%)、「3時間」(15.0%)、「2時間半」(11.1%)です。

理想・現実ともに女性社員の方が、1回あたりの飲み会時間が長い傾向が明らかになりました。

(%)



◇44%が終業後 5 日とも真っすぐ帰宅

Q8. 平日の終業後、まっすぐ帰宅する頻度は 1 週間のうち何日ですか？

(%)

	全体	男性	女性
1日	3.3	4.5	2.0
2日	6.3	5.5	7.0
3日	20.5	16.0	25.0
4日	22.3	25.0	19.5
5日	44.0	45.5	42.5
ない	3.8	3.5	4.0

終業後にまっすぐ帰宅する頻度を聞いたところ、4割超(44.0%)の人が「5日」とも寄り道をせずに真っすぐ帰宅していることが明らかになりました。次の日の仕事に備えて、英気を養っているのか。自分の時間を大切にしたいということなのか。あるいは新入社員の内向きな傾向の現れなののでしょうか。

次点は「4日」(22.3%)、「3日」(20.5%)と続きます。終業後に寄り道をして、ちょっとした買い物や、同僚との食事などさまざまな時間の過ごし方が予想できますが、終業後のアクティブ派はごく少数のようです。

